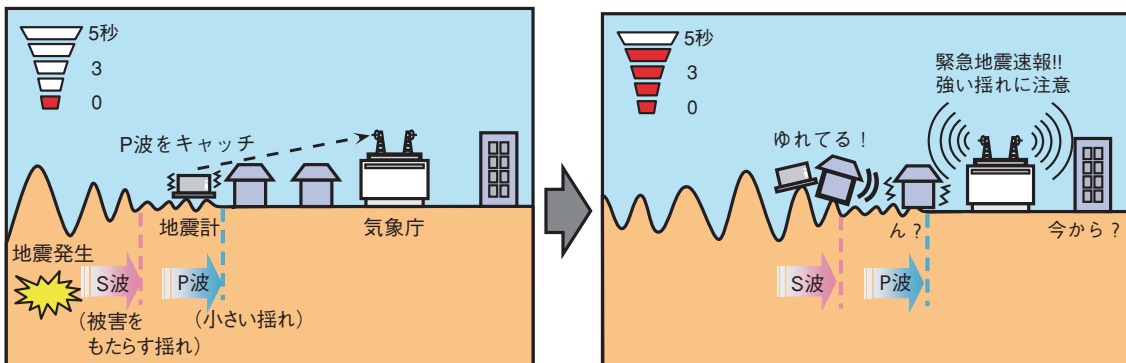


8 緊急地震速報

1) 緊急地震速報とは

緊急地震速報とは、震度5弱以上の地震が発生し、震度4以上の大きな揺れが予想される地域に対して、テレビやラジオや携帯電話などを通じて気象庁から発表されます。

緊急地震速報は、地震の揺れを震源に近いところで捉えてから発表される情報です。このため、緊急地震速報の発表から強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒程度で、震源に近い場所では揺れに間に合わない場合があります。



(気象庁資料による)

2) 緊急地震速報が発表されたら?

あわてずに、まず身の安全を確保することが大切です。「利用の心得」を参考に、緊急地震速報が発表されたときにどう行動するか、日ごろから考えておきましょう。

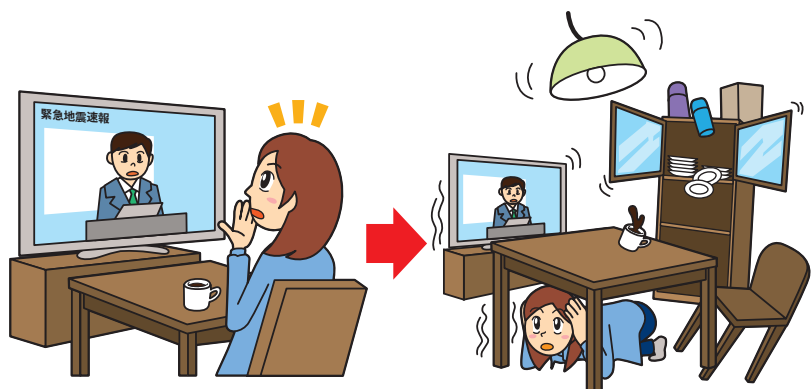
緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じてあわてずにまず身の安全を確保する!

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外へ飛び出さない
- ・無理して火を消そうとしない



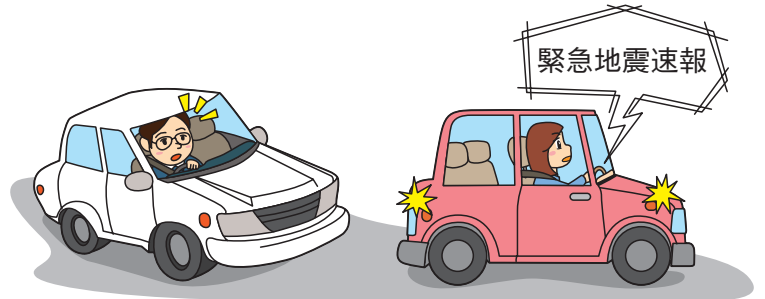
人がおおぜいの施設では

- ・係員の指示に従う
- ・落ち着いて行動
- ・あわてて出口に走り出したり、外に出ない



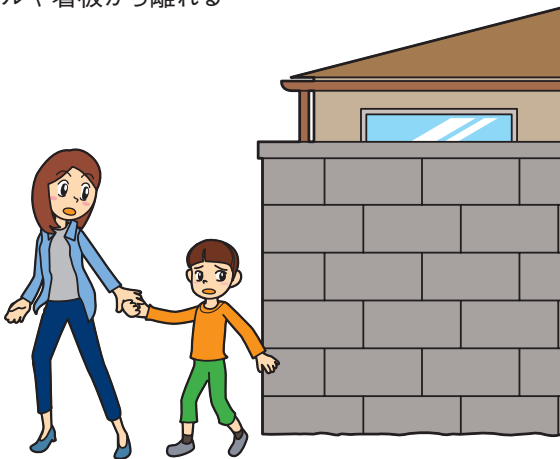
自動車運転中は

- ・あわててスピードをおとさない
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止



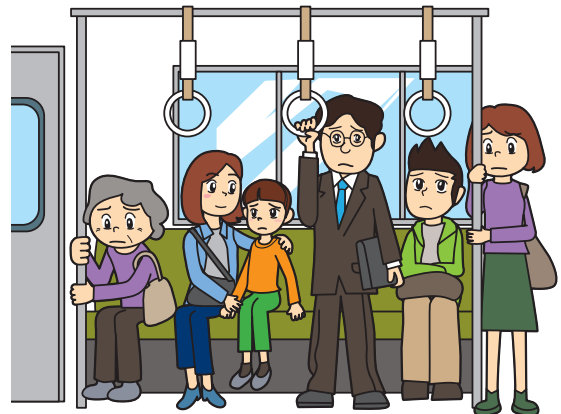
屋外(街)では

- ・ブロック塀から離れる
- ・看板や割れたガラスの落下に注意
- ・ビルや看板から離れる



鉄道・バス乗車中は

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



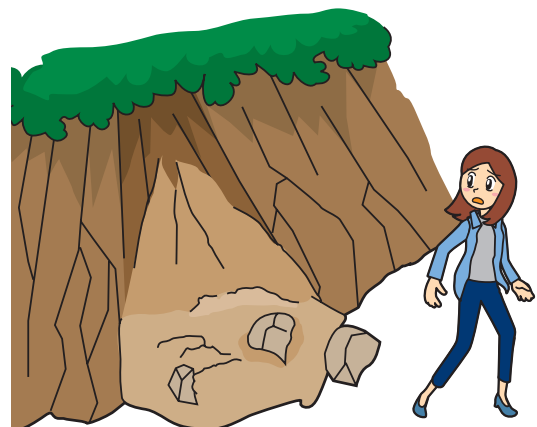
エレベーターでは

- ・最寄りの階で停止させすぐに降りる



山やがけ付近では

- ・落石やがけ崩れに注意



(気象庁資料による)